

西濃農林事務所の普及活動状況

平成27年4月23日現在

今月の重点活動

■新規就農者 **平成27年度 西濃地域就農支援会議(第1回)の開催**

4月20日に、県就農支援センター(海津市)において、冬春トマト研修第2期生を対象とした第1回目の就農支援会議を開催した。

海津市内での来年度就農を目指す3組4名の研修生を、スムーズな就農へと誘導するために、県農林事務所のほか市、JAが参集し、研修生との顔合わせを兼ね、意見交換を行った。

3組とも、トマト農家としての就農に対する意欲は高いが、収穫を中心とする労働力の確保や機械・施設の整備に対する資金調達、また就農農地の確保など、疑問点や不安に感じていることも多く、今後、関係機関が連携して就農に向けた課題・問題点を解決しつつ、支援を進めていくことを確認した。



【就農支援会議の様子】

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー **26年産ブロッコリー出荷実績を伸ばして終了**

平成26年産ブロッコリーは3月中旬に出荷終了した。出荷実績は31,836ケース(前年比141%)、販売額42,780千円(前年比151%)、単収143ケース(前年比121%)であった。定植時期の天候安定により、活着が良かったことや、品種の見直しにより3月出荷物の品質が向上したことにより単価が高くなった。

27年産では、更に品種の見直し等の栽培改善を行い、計画出荷できるように検討する。

売れる農畜産物づくり

■小麦 **良品質麦の安定生産指導**

小麦の出穂期は、早い播種(10月下旬~11月上旬)では昨年より3日程度早くなっており、遅い播種(11月中旬以降)ではほぼ昨年並となっている。

4月の多雨により、湿害が発生しているほ場が散見され、生育不良や出穂遅れが確認されている。小麦赤かび病防除は、出穂期に合わせて昨年より早めに計画されており、海津市のイワイノダイチで4月21日から開始した。今年は、4月の天候不良により赤かび病の発生が多いと予想されるため、開花始めからの2回防除の徹底を呼びかけている。

■トマト **トマト灰色かび病対策指導**

3月下旬は、高温・乾燥した日が続いたが、4月からは、長雨と低温の天候に急変した。日照が極めて少ないため着色が遅れている。また、灰色かび病が急増し、各生産者で防除対策は行っているものの、生産者によっては今後の出荷に影響があると思われる。さらに、現在開花している花房の花質も寡日照等の影響で悪く、花房への灰色かび病の感染もあることから、6月上旬前後の出荷量にも影響があると思われる。農業普及課では、各生産組織のトマト目揃会や販売検討会等で対策について説明し、巡回での指導を行っている。

4月上旬までの累計実績(3ヶ年対比)は数量98%、金額91%、単価93%。

■下宮青果部会 **販売金額10億円超える出荷達成**

神戸町下宮青果部会協議会の総会が4月14日に開催された。26年度の総販売金額は、10億2576万円(前年比101%)であった。総会終了後、イオンリテール(株)のバイヤーから「

環境変化にともなう青果物の流通」についての記念講演が行われた。農業普及課は総会運営について支援した。

また、JAにしみのが建て替えを行っていた神戸集出荷センターが完成し、3月26日に竣工式が行われた。4月8日から集出荷が行われ更なる出荷増加に向けた体制が整った。

■ 梨 梨経営の若い担い手研修

曾根地域の水稻作業受託を行っている(株)D. I. Bが、今年度から梨部門を設け、地域の梨農園を譲り受けて経営を行っていくことを考えている。4月16日に梨専属予定の従業員が曾根地域の生産者ほ場を巡回し、摘花、受粉作業等について曾根梨部会員から指導を受けた。農業普及課は、関係機関との調整を行う等の活動支援を行った。梨の開花は豊水は南若森4月4日、曾根4月5日頃、幸水は南若森4月7日、曾根4月9日頃となり、4月初めの高温も影響し平年より3日ほど開花が早まった。

戦略的な流通・販売

■ 女性(6次産業化の推進) 豆腐製造加工施設完成

安八町内の個人農業者宅にて豆腐加工施設が整備された。施設整備にむけ昨年度から6次産業化実践アドバイザー派遣による専門家のアドバイスや、既に取り組んでいる県内の豆腐加工施設の視察等を経て1月末に加工施設が完成した。製造許可も取得し、現在商品づくりにむけて試作が進められている。

今後、岐阜県公衆衛生検査センターで消費期限・賞味期限設定のための検査を行い、表示ラベル作成、販売となる。販売開始時期は未決定。

多様な担い手の育成・確保

■ 法人化支援 集落営農組織の法人化

西濃管内では、集落営農組織の法人設立が相次いでいる。3月29日に安八町入方において農事組合法人むすぶ営農(旧ファーム入方営農組合)の設立総会が開催された。また、大垣市静里では、3月28日に(農)静里営農(旧静里地区集落営農組合)が設立された。



【むすぶ営農組合設立の様子】

■ 集落営農組織 法人化に向けた研修会の開催

4月8日に安八町の上村集落営農の法人化について、組合長、JA、役場、普及課で打ち合わせを行った。5月24日に設立総会を計画中のこのことで関係機関と支援を行う。

また、神戸町の新屋敷集落営農では4月10日法人化について研修会が行われた。研修後、地域住民のみで話し合いが行われ、発起人をたてて法人化に進むことが合意された。輪之内町では、4月13日に上中郷・中郷下集落営農の法人検討会が行われた。4月24日下大樽集落営農の法人化研修会が行われる予定となっており、農業普及課として、関係機関と連携し、法人化に向けた支援を行う。

■ 集落営農組織 関ヶ原町営農組織連絡協議会の設立

「関ヶ原の生産者が情報交換できる場が欲しい」という地域の要望を受けて、関ヶ原町役場が事務局となり、関ヶ原町営農組織連絡協議会が設立された。4月10日に参加者15名(役場、生産者、JAにしみの、普及課)により第1回目の会議が行われた。今回は関係職員紹介とJAにしみのより「あさひの夢」の荷受けについて説明があった。

次回以降の協議会にも出席し、生産者や関係機関と情報共有を図っていく予定である。